

一なるもの

えにし

木々と目が合う

風がうたう

私は わたしに還る

根に吸い上げられ 飛ばされて

馳せる

透ける空と呼応する

落ちてみれば

ひっそり 花

揺れて

光は均しく

涙のひとに 遠く寄り添う

平静の窟いわや

とどけ

すべてを結ぶ詩うた